

令和4年7月12日（火）
国土交通省 関東地方整備局
鬼怒川ダム統管理事務所

記者発表資料

「R3湯西川ダム周辺法面補修工事」において、
『公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）』
『余裕期間制度（フレックス方式）』 『難工事指定』を試行します。

工事発注において、入札参加者がいないことなどを理由として、入札・契約手続きの取りやめや不調が予測される工事について、不調・不落対策を試行しております。

今回発注する「R3湯西川ダム周辺法面補修工事」では、以下の①、②、③を試行します。

① 『公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）』

競争参加者が少数と見込まれるとともに技術的難易度が比較的低い工事において試行するもので、特徴は次のとおりです。

- 1) 競争参加時に配置予定技術者の申請は不要です。
(参加要件として配置予定技術者の工事経験の設定はありません)
- 2) 総合評価における加算点の評価対象は、企業の同種工事の施工実績と災害活動実績のみです。
- 3) 過去の工事成績や表彰実績、配置予定技術者の技術力は評価対象としません。

② 『余裕期間制度（フレックス方式）』

受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約締結の翌日から令和5年3月27日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定できます。なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等を設置することを要しません。

③ 『難工事指定』

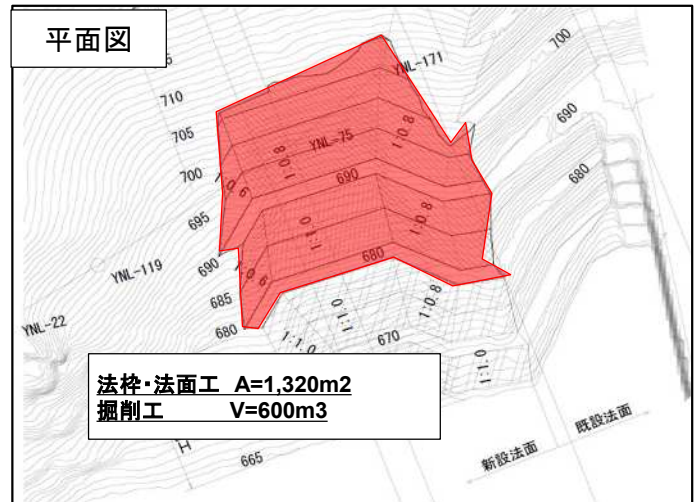
本工事は、工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事(試行)」を加点対象とする「難工事指定」を採用します。「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事(試行)」の総合評価の評価項目において加点対象となります。また、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間で評価対象となります。

発表記者クラブ
竹芝記者クラブ／神奈川建設記者会／栃木県政記者クラブ 宇都宮市役所記者クラブ／日光記者クラブ
問い合わせ先
国土交通省 関東地方整備局 鬼怒川ダム統管理事務所 副所長 たての さとる 管理課長 なかざわ たかひろ 住 所 館野 悟 中澤 高廣 住 所 栃木県宇都宮市平出工業団地14-3 電 話：028-661-1341（代表）

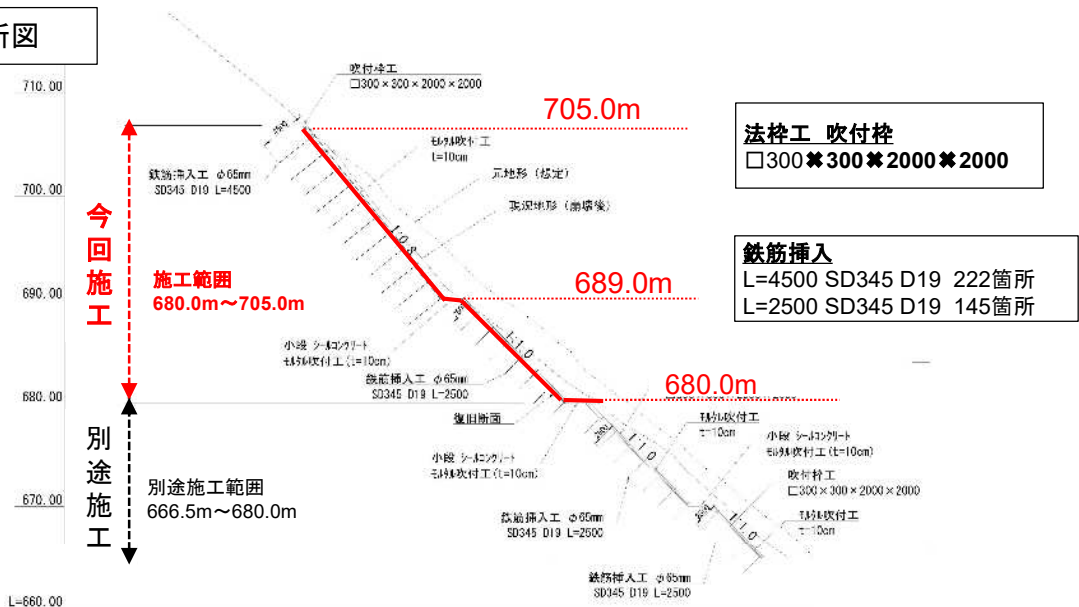
《工事概要》

- (1) 工 事 名 : R3湯西川ダム周辺法面補修工事
- (2) 工事場所 : 栃木県日光市西川地先
- (3) 全体工期 : 契約締結の翌日から令和5年3月27日まで(予定)
- (4) 競争参加資格
 - 1) 対象業者 : R3・4関東地方整備局一般競争参加資格認定(工事種別 : 維持修繕)
 - 2) 同種工事の施工実績 : 法面工の工事実績を有すること。
- (5) 工事内容 (概要)

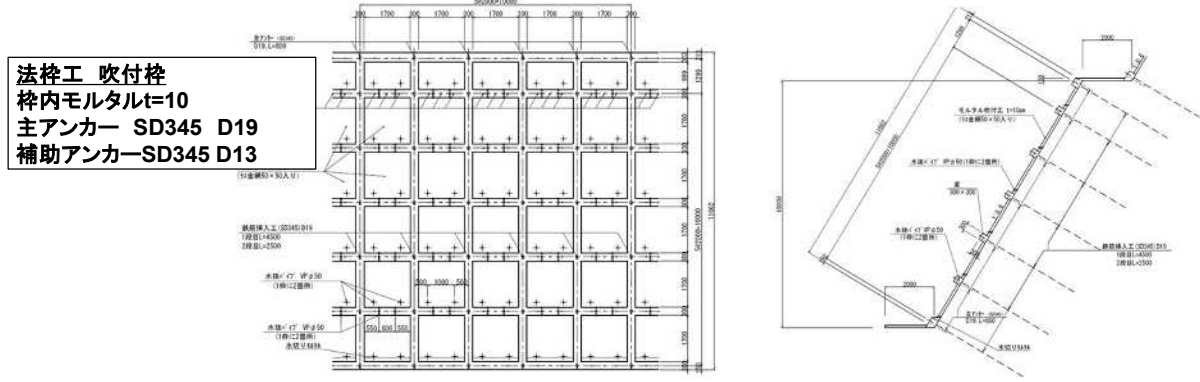
河川土工	1式
法面工	1式
仮設工	1式



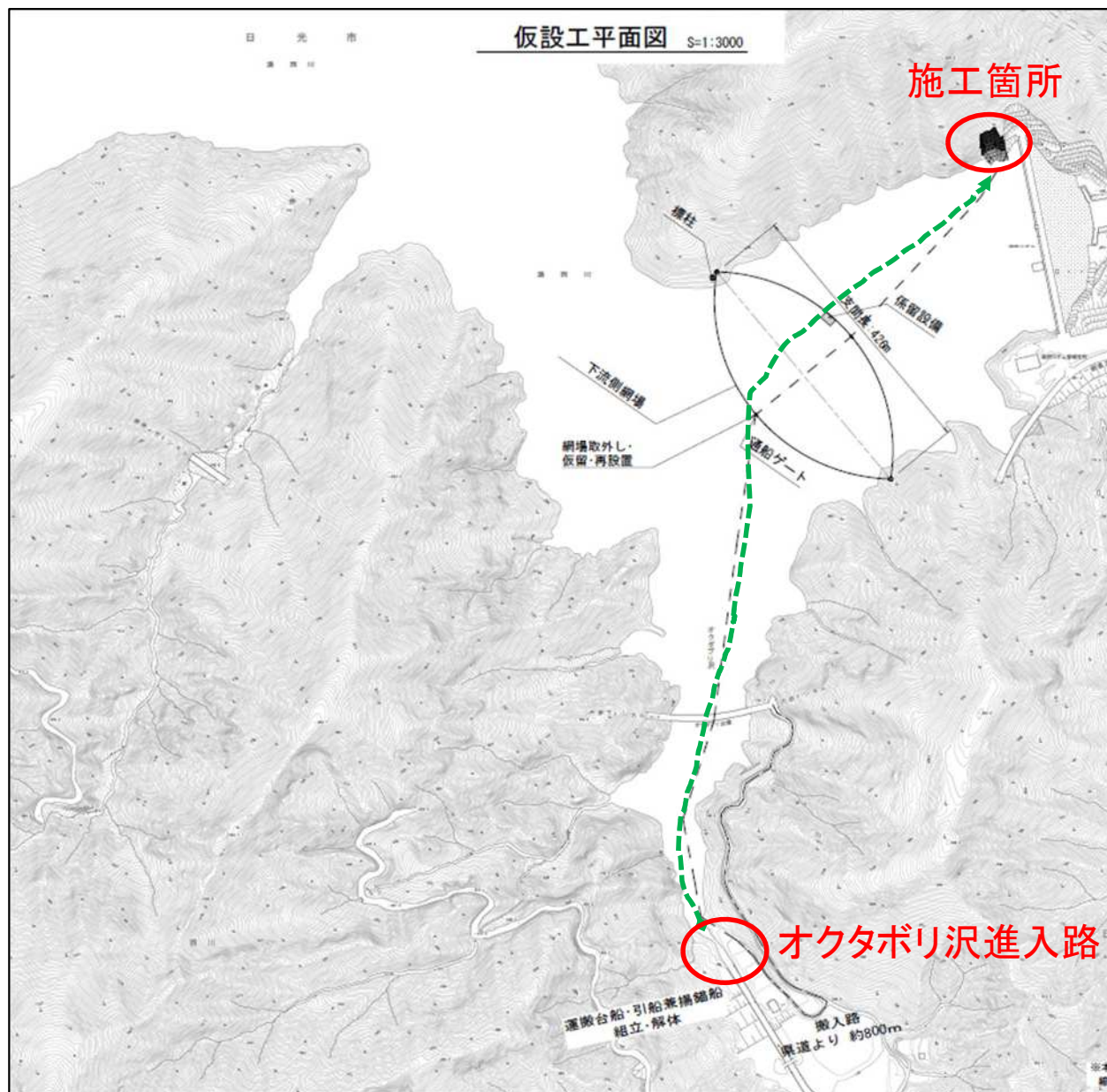
法枠工横断面



法枠工標準展開図、標準断面図



《工事概要》



施工機械の搬入としては湯西川ダム上流右岸のオクタボリ沢進入路より、フロート式台船を組立、台船に施工機械を積載する。積載後は引舟を使用し、台船とともに移動する。運搬ルートに網場が1カ所あるが使用中は取り外し、作業完了後に復旧を想定しています。また、台船は施工機械の待機場所としても使用するため、台船、引舟ともに施工箇所近くで仮固定を行うことを想定しています。

なお、公告資料（特記仕様書等）の条件が変更になった場合は、設計変更の対象とし、監督職員と協議してください。

《スケジュール》

入札公告、入札説明書交付	令和4年7月12日（火）
技術資料等の提出期限	令和4年7月22日（金）
入札書・工事費内訳書提出期限	令和4年8月25日（木）
開札日	令和4年8月30日（火）

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

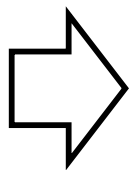
対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

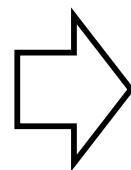
- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **指名競争・総合評価落札方式**
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

公示

(工事内容・入札時期・落札方式等)

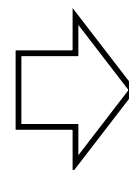


工事参加希望の意思確認・技術資料の提出
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)



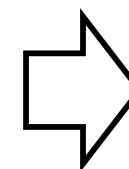
参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

指名基準による選定



発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価
落札方式の手続き



指名競争・総合評価落札方式により落札決定

(標準点100点+加算点(11点)+施工体制
評価点(30点))÷入札価格=評価値
※加算点は災害活動実績+賃上げの実施
に関する評価

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

(4/5)

災害協定の締結や活動に
係るインセンティブの向上

概略工事工程表

R3湯西川ダム周辺法面補修工事

工種	単位	数量	令和 4年				令和 5年			備考
			9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
準備工	式	1								・30日間
仮設工 (高所無人掘削機・台船準備等)	式	1								・準備7日間+片付復旧6日間
河川土工(高所無人掘削機) 掘削工・段跳工	m ³	600								(1PT) ・14日間
河川土工(高所無人掘削機) 法面整形工	m ²	1,330								(1PT) ・8日間
法面工 法枠工	m ²	1,330								(3PT) ・27日間
法面工 鉄筋挿入工	箇所	369								(4PT) ・68日間
後片付け	式	1								・20日間
制 約 条 件	関係機関協議	7月上旬～9月上旬								環境省協議
	住民合意	—								
	用地確保	7月上旬～10月下旬								林野庁協議
	法定手続き	—								
	支障物件の移設	—								
	年末年始、お盆	—								
	出水期間	6.1-10.31								
	路上工事抑制	—								
	夏季制限水位	6.15-9.30								湯西川ダム

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

《余裕期間制度(フレックス)の活用について》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者があらかじめ設定した全体工期(余裕期間と工期を合わせた期間)の内で、受注者は工事の始期と終期を任意に設定することができます。